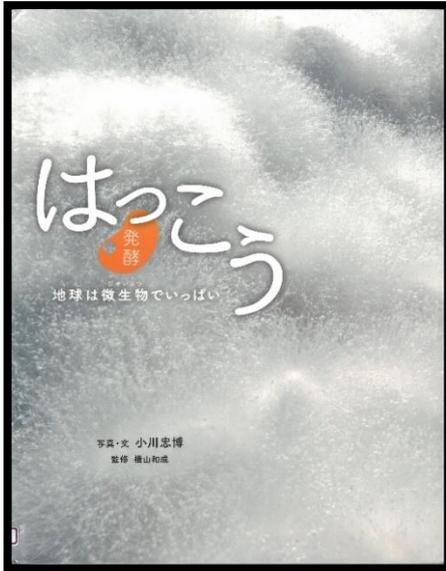


はっこう(発酵) 地球は微生物でいっぱい

特集:たべもの



おがわ ただひろ
小川 忠博/写真・文

よこやま かずなり
横山 和成/監修

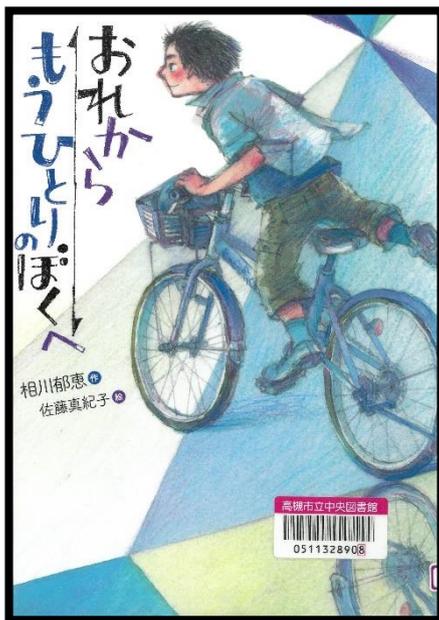
あすなる書房[588]

表紙いっばいに写った、白いふわふわの正体は何でしょう？(ヒント:みそを作る微生物)

ぶどうがワインに、小麦粉がパンに、大豆がみそになるのは、目に見えない微生物たちの大活躍のおかげです。人間の役に立つ、微生物のはたらきを「発酵」といいます。食べ物だけでなく、腐葉土、藍染め、おなら、下水処理にも「発酵」が関係しています。

私たちの暮らしに欠かせない、色々な「発酵」を美しい写真で紹介します。(答え: 麹菌の胞子)

おれからもうひとりのぼくへ



あいかわ いくほ
相川 郁恵/作

さとう まきこ
佐藤 真紀子/絵

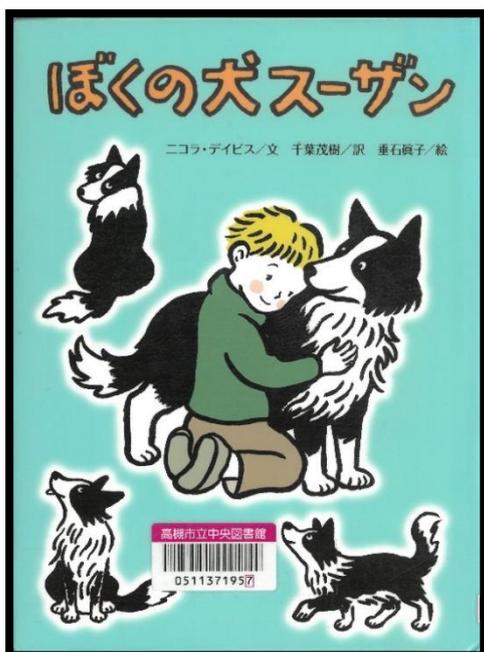
岩崎書店[913アイ]

智は友人と待ちあわせしている公園に向かう途中、とつぜん自転車に乗った自分にそっくりな男の子とぶつかりそうになります。

公園に行くと友人たちはおらず、智が友人の家に行ってみると、家の庭で約束していた2人が遊んでいました。友人たちのよそよそしい態度に居心地が悪くなり、自分の家に帰ると、いつもと違う母親の服装や話し方に違和感を覚えます。

同じようで違う世界に迷いこんでしまった、智のおはなしです。

ぼくの犬スーザン



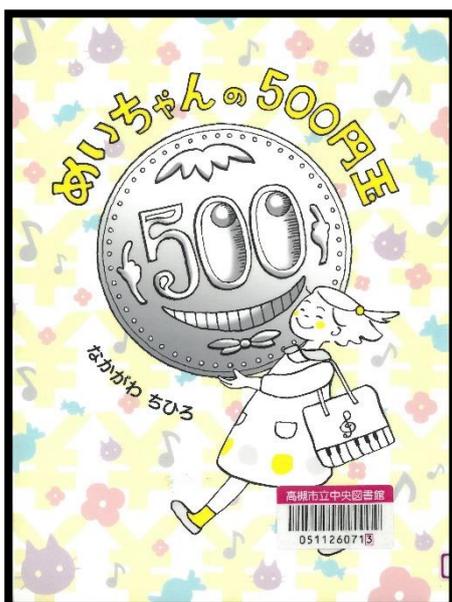
ニコラ・デイビス/文
千葉 茂樹/訳 垂石 真子/絵
あすなる書房〔933デイ〕

ジェイクはクリスマスが大好き。ツリーのチカチカ光る電球、うるさい音楽、さわぐ人たち、何もかもが気に入りません。

クリスマスシーズンになり、不安な毎日を過ごすジェイクは、迷子になった犬と出会います。スーザンと名前をつけたその犬といれば、ジェイクはいつもとちがうことが起こっても、落ち着いてのりこえることができました。

ジェイクはスーザンと出会ったことで、初めてクリスマスをお祝いしたい気持ちになります。

めいちゃんの500円玉



なかがわ ちひろ/作・絵
アリス館〔913ナカ〕

ある日、めいちゃんは道で500円玉を拾いました。その500円玉が急にしゃべりだし、「オレさまで好きなもの買いなよ。」と言います。

めいちゃんは、スーパーやペットショップ、お花屋さんなどいろいろなお店に行き、500円玉の使い道を探しますが、なかなか500円玉を使うことができません。

イラストのカラーは黄色だけが使われ、可愛い絵がたくさん読み物です。